

「江田島国際交流歴史ツアー」 江田島市との国際交流会  
（「グローバル化支援インターンシップ」授業）  
担当：広島大学 国際センター国際教育部門 恒松直美

日時：2013年4月21日（日）

時間：13:40-15:15 交流会（13:00-13:40 夢来来交流ゾーンにて昼食）

場所：夢来来 交流ゾーン（江田島市沖美町）

問い合わせ先 清水様（「田舎暮らしを楽しもう会」会長 090-1350-6000）

参加者：1) 広島大学からの参加者（広島大学短期交換留学プログラム留学生、  
広島大学国際センター教員、日本人支援員）

2) 江田島市からの参加者

江田島市職員（商工観光課交流定住促進室）、江田島市への移住者、  
江田島長期滞在者、専門的職業に携わる方（農業・漁業など）

司会・進行：「グローバル化支援インターンシップ」担当・恒松

通訳：各グループ（5グループ）に一人（留学生・教員）

1) 異文化理解についての留学生インターンの体験の発表（全体）（13:40-14:00）

恒松直美（担当教員）ご挨拶（13:40-13:45）

Yang, Qian（13:45-13:50） Li, Xiuyan（13:50-13:55）

質疑応答（13:55-14:05）

2) 各グループでのディスカッション（各グループで行う）（14:10-14:55）

各自でまず思案する（14:10-14:15） 各グループで討議（14:15-14:55）

● ディスカッションのテーマ

A. 留学生と江田島移住者との共通点

B. 外国人が江田島に移住した場合、どのような支援体制が必要か

C. カルチャーショック（留学生の日本留学での体験や日本人に対して感じていること、移住者の方の江田島移住での体験）

● 各グループに江田島市の方にも入っていただき、各グループで交流し、話し合いをする形で親交を深める。一つのグループを5～7名くらいで構成する。

● 各グループでは、インターンが司会・進行を担当。日本語が上級でない学生のために通訳者が英語に通訳する（各グループの通訳担当を指定）。

● 参加者用の名札カードを留学生インターンが準備する。

3) 各グループの感想の発表（全体）（14:55-15:15）

● 各グループより、代表が感想を発表する。

● 江田島について聞きたいことがあれば質問する。

\*交換留学生は少なくとも半年日本語を勉強しています。

授業担当教員：広島大学国際センター国際教育部門(准教授)恒松直美

Dr. Naomi Tsunematsu (International Center: International Education Division)

広島大学短期交換留学プログラム・アカデミックアドバイザー

TEL/FAX 082 424 6279

Email: [ntsunema@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ntsunema@hiroshima-u.ac.jp)

研究 Homepage: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/ntsunema/index.html>